

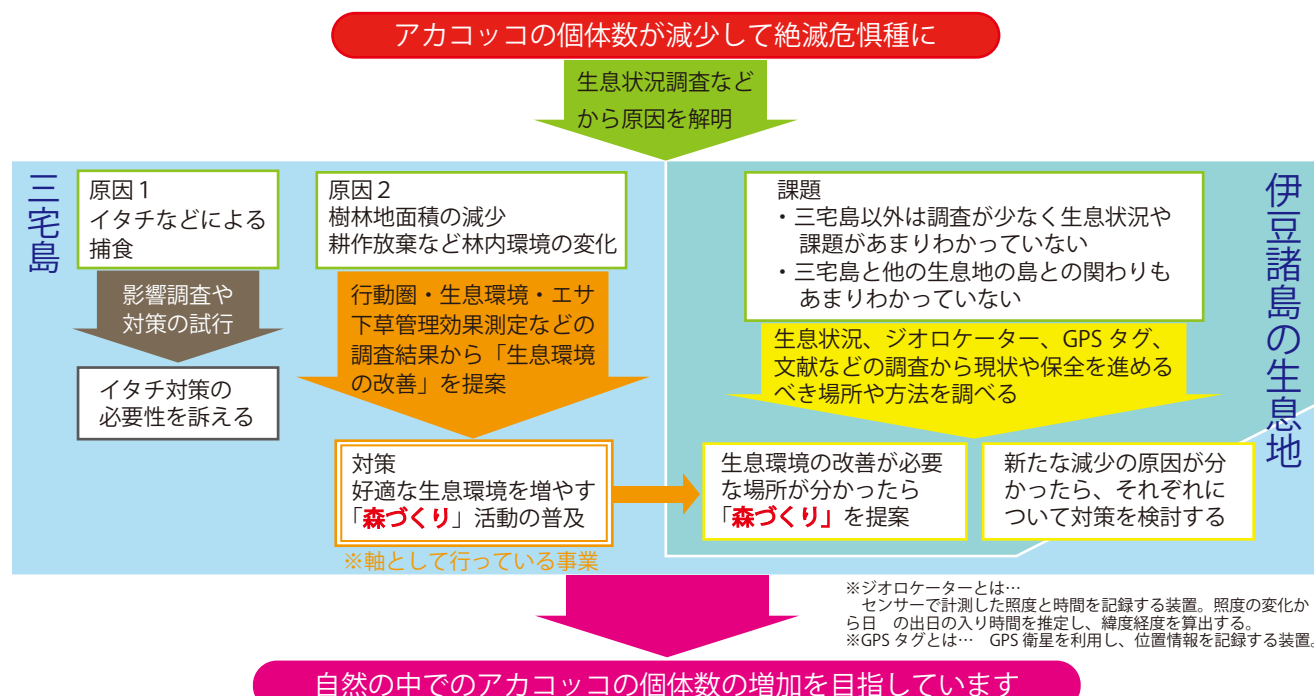
アカコッコ保護事業報告書

公益財団法人日本野鳥の会

アカコッコ保護事業では、伊豆諸島とトカラ列島のように生息する日本固有種で、環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に選定されているアカコッコの個体数の増加を目的に、2012年から重要な繁殖地である東京都三宅島を中心に調査や環境整備、普及教育活動などを行なっています。

 目 標

- ・アカコッコの生息地を増やすための森づくりモデルの確立と普及
- ・三宅島における森づくり作業の実施
- ・外来捕食者（イタチ等）への対策


 概 要

- 2012年 保全計画の作成、次年度以降の調査計画等準備
- 2013年～2015年 アカコッコの生息環境の解明
 - カラーリングを用いた繁殖期の行動圏面積の推定
 - 森林内の下草管理区域のアカコッコによる利用状況の調査
 - 森づくりモデルの試行と確立
- 2016年 三宅島でアカコッコ総個体数調査を実施（推定個体数は約7,800羽）
 - アカコッコの利用地域の解明に向け、ジオロケーターを装着
 - アカコッコの森復活大作戦のリーフレットの配布とイベントの開催
- 2017年 アカコッコの利用地域の解明に向け、ジオロケーターを回収、GPS タグを装着
 - アカコッコの森復活大作戦の広報とイベントの実施





2017 年度の活動

1) アカコッコの利用地域の解明

2016 年度に続き、非繁殖期のアカコッコの利用地域を明らかにするための調査を行いました。ジオロケーターの回収と GPS タグの装着・回収は、繁殖が終わる7月下旬から8月初旬と繁殖前の3月末に行いました。

7月には、未回収のジオロケーター7個の内2個を回収しましたが、またも故障のためデータが得られませんでした。また、新たに GPS タグを5個体に装着しました(写真1)。

利用地域の解明に向け、新しい機械に期待がかかりますが、3月の調査では回収できなかったため、次年度以降に再度回収を試みます。



写真1 アカコッコに装着した GPS タグ 装着のための紐を合わせても2g程度の機械を使っています

2) アカコッコの森復活大作戦

● 三宅島産業祭への出展

アカコッコが好む森林環境を、三宅島の多くの場所で復活するためには、島民のみなさんの協力が必要です。島民の方に活動を知っていただくために三宅島産業祭に出展しました。

ポスターやアカコッコの塗り絵、実物大のぬいぐるみなどを使って、アカコッコについて説明をしながら、森づくりの活動をリーフレットを使って紹介しました。あいにくの雨でしたが、たくさんの方が立ち寄ってお話を聞いて下さいました(写真2)。



写真2 三宅島産業祭 アカコッコ館のレンジャーと西五反田事務所の職員が協力して活動を紹介

● アカコッコの森づくりの開催

三宅島自然ふれあいセンター・アカコッコ館周辺の村有林をお借りして進めている森づくり。今回は島外から参加者を募って3月10日に行いました(写真3)。

三宅島は温暖で湿潤な気候のため草木がどんどんと成長します。アカコッコ館のまわりはアシタバ畑などの畑地ではありませんが、アカコッコがエサを取り易いように下草をなくした場所を作っています。今年は少人数でしたが決めた範囲の下草を取り除くことができました。モニタリングのために設置したセンサーカメラで、エサをとりにアカコッコが訪れている様子が確認されています。



写真3 アカコッコの森づくり 作業をして落ち葉が見えるようになった森の中でみんなで記念撮影

公益財団法人日本野鳥の会
保全プロジェクト推進室